

助成…
文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（次代の文化を創造する新進芸術家育成事業））
独立行政法人日本芸術文化振興会

平家物語の世界

その7 語り の 伝統を次代に

清盛を恐れながら高倉天皇の寵愛を受け入れた小督、
木曾義仲のもとを去るにあたって勇猛に戦った巴、
何不自由なく育ちながら、壇浦でわが子安徳帝の入水を
目の当たりにした建礼門院徳子。
琵琶法師の語りが、その女性たちの思いを描く。

平家物語の女性たち

小督・巴・建礼門院



日吉章吾 田中奈央一 菊央雄司

平家

《小督》

《木曾最期》

《六道》

菊央雄司 / 田中奈央一 / 日吉章吾 他

お話… 薦田治子



巴御前


小督

建礼門院徳子

令和5年 **9月8日** **金**

14時開演 (13時30分開場)

会場

 **紀尾井小ホール**

紀尾井ホール5F

〒102-0094 千代田区紀尾井町6番5号

主催：当道音楽保存会 / 日本芸術文化振興会

制作：当道音楽保存会 090-2426-1058

heike.katari@gmail.com

https://heike-katari.com/

後援：邦楽ジャーナル

公益財団法人日本伝統文化振興財団

JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

入場料◎3,000円 (自由席)

チケット発売日◎令和5年7月1日(土)

カンフェティ

●ウェブ予約

http://confetti-web.com/heike_katari

※ご予約前に、「カンフェティ」への会員登録 (無料) が必要となります。

●電話予約

カンフェティチケットセンター

0120-240-540 (受付時間 平日10:00~18:00)

※お電話でのご予約の場合、会員登録は不要。

※カンフェティポイントは付きません。

※ご予約有効期間内にセブン-イレブン店頭レジにてチケットをお受け取りください。



平家物語の世界

その7

語りの伝統を次代に

琵琶法師が『平家物語』を語ったことはよく知られている。『徒然草』によれば、信濃前司行長が慈鎮和尚の庇護の下で文章を書き、生仏という琵琶法師に語らせたのが始まりという。『平家物語』は語られることを前提に作られた「音楽作品」であるといってもよいであろう。『平家物語』には、それを語るための専用の節回しと専用の琵琶があるのである。この音楽のことを「平家」という。十五世紀の京都には琵琶法師が五、六百人もいたという。平家の流行につれて、琵琶法師の社会的な地位も上昇する。古典音楽化した平家は、連歌や茶の湯の席で、あるいは、儀式音楽としても語られるようになる。江戸時代には、こうした演奏の場が引き継がれ、武士の昇進祝いや、大店の開店祝いといった祝儀の席で、あるいは、歴代将軍の葬儀や大名家の仏事といった不祝儀の席で語られている。また、茶人、俳人、武士などが、知的で優雅な趣味として、みずから平家を語って楽しんだ。琵琶法師たちは、江戸時代には、平家だけでなく、新しく伝来した三味線や、それまではおもに宮中や寺院で用いられていた箏を手に活躍し、多くの名曲を残した。箏や三味線の音楽家が平家も演奏するという伝統は、明治維新で多くの地で失われてしまったが、名古屋の盲人箏曲家が『平家物語』の内の八章段を語り伝えた。現在は、この平家の語りを次世代に伝えようと平家語り研究会が伝承に取り組んでいる。



2022年9月9日「平家物語の世界 その6」●紀尾井ホールにて

菊央雄司

大阪府出身。地歌箏曲家。人間国宝故菊原初子の後継者・菊原光治師に師事。平成十四年(二〇〇二)から文化庁の新進芸術家国内研修員として今井勉師から平家の指導を受ける。平成十一年より上方胡弓を菊津木昭に師事。長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、大阪舞台芸術新人賞、大阪文化祭奨励賞、日本伝統文化振興財団賞など受賞。文案研修生講師。平家語り研究会会員。

田中奈央一

東京都出身。山田流箏曲家。東京藝術大学邦楽科卒業。同大学院修士課程修了。文化庁新進芸術家国内研修員修了。NHK邦楽技能者育成会第五〇期首席卒業。古典・現代箏曲の演奏のほか、声優の堀江一真と朗読音楽劇「声劇和楽団」を主宰するなど、多彩な演奏活動を展開している。東京藝術大学非常勤講師。都立王子総合高校特別専門講師。中能島会所所属。平家語り研究会会員。

日吉章吾

静岡県出身。生田流箏曲家。東京藝術大学邦楽科卒業。同大学院修士課程修了。手ほどきを生田流箏曲正絃社大師範の三木千鶴師に受け、のちに、宮城社大師範の金津千重子師に生田流箏曲及び三絃を師事。胡弓を高橋翠秋師に師事。平成二十六年利根英法記念コンクール最優秀賞受賞。同二十八年文化庁芸術祭新人賞受賞。正絃社師範。東京藝術大学非常勤講師。平家語り研究会会員。

【平家語り研究会】

平家語り研究会は、平家物語を琵琶の伴奏で語る伝統音楽「平家(平家琵琶、平曲)」を次世代に伝えることを目的に開催されている研究会です。当道音楽保存会(鷹田治子代表)の呼びかけに応じ、菊央雄司、田中奈央一、日吉章吾が二〇一五年二月に活動を開始し、盲人音楽家によって伝えられてきた平家を習得するために、研究を重ねてきています。二〇一六年度からは文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に採択され、現在は伝承曲の演奏を一層磨くとともに、伝承の途絶えてしまった曲の復元にも取り組み、「平家物語の世界」語りの伝統を次代に」のシリーズを続けています。

現在までに、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、東京藝術大学、浜松市楽器博物館、ICTM(国際伝統音楽学会) 上海コロキアム、清米会、日本三曲協会、鎌倉国宝館、「若手邦楽聞き比べ」(邦楽演奏家団体連絡会議)、スイス高等音楽院(ジュネーブ)、楽劇学会、日本製鉄文化財団の主催公演などで、演奏実績を積み重ねています。中学校や高等学校の音楽教材(教育芸術社)、アメリカの大学生向けの民族音楽学の教科書(ルートレッジ社)などにも、研究会のメンバーの演奏が収録されています。

平家語り研究会HP



紀尾井小ホール

紀尾井ホール5F

東京都千代田区紀尾井町6番5号 〒102-0094

最寄駅

- 四ツ谷駅 (JR線・丸の内線・南北線) 麴町口徒歩6分
- 麴町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
- 赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分
- 永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分